

恕の心



令和4年2月21日 校長 廣瀬 真樹

「明日の丸中を考える会」開催！



2年生全員で話し合いました。意見を出しあいました。発表しあいました。……………毎年行われている通称‘明日丸’ですが、今年例年とは違い、学年全員が考え、話し合う機会を設けました。体育館に全員が集まり実施した会でしたが、何よりも参加者全員の真剣な空気を感じ取ることが出来たことに、本当に感心しました。他人事ではなく自分事として考える姿を頼もしく見ることが出来ました。

「自分たちが最上級生としてどのような学校づくりをしていくのか」「どんな取り組みが出来るのか」……………今回の明日丸は大きな、そして確かな一歩になると確信しました。これからが楽しみです。

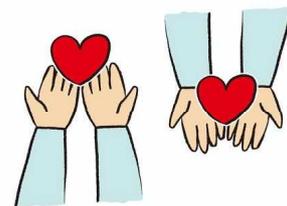
「言葉遣い」は「心遣い」

私たち人間が話す言葉は、使い方によって聞く人を幸せな気持ちにしたり、悲しませたりします。ほめられる言葉をかけられると嬉しい気持ちになるし、悪口を言われると悲しい気持ちになります。言葉は人間の心を動かす力を持っているのです。

「ことば」には、香りがあり、味があり、重みがある。
「ことば」には、陰があり、とげがある。
「ことば」は時として人を喜ばせ、怒らせ、悲しませる。
結局「ことば」は生き物である。人の心を変えてしまうほど力がある。 やっぱりことば遣いは心遣い

言葉には、不思議な力があります。言葉の意味を伝えるだけでなく心を伝えるものです。温かい言葉は、人の心を和ませ、冷たい言葉は、人を傷つけます。私達の生活を振り返ってみると、一つの言葉で傷ついたり、一つの言葉で励まされたりした経験は誰でもあるのではないのでしょうか。

言葉をたくさん持っている、考えが広がります。逆に、言葉が少ないと、考え方が狭くなります。相手に自分の思いを伝えるときも、多くの言葉をもっていけばうまく伝えることができます。そして持っている言葉を磨くためには、会話をすることです。もちろん読書することも大事です。言葉を磨くことは、人生を豊かにするのだと思います。言葉にはその人の生き方、人柄が出るものです。



校長コラム

すぐに言わない

嫌なことを言われても 腹が立つことがあっても
イライラしないこと

そのままの気持ちで話すと あとで後悔することになる

すぐに思いついた言葉をぶつけると 争いが生まれるだけ
言葉もとげとげして 相手に伝わらない

心が整うまで時間をおくこと
気持ちが乱れているうちは口に出さないこと

一度出した言葉は戻せません。だからこそ、大切に、そして何より相手の立場や気持ちを思いやって発言できる人でありたいものです。